



## おかげさまで

読売新聞東京本社  
取締役副社長販売担当

宮本 友丘

時は2003年(平成15年)。海

外では2月に米国のスペースシャトル「コロンビア」が空中爆発して乗組員7人全員が死亡する事故が起こり、3月にはイラク戦争が勃発。12月には連合国暫定当局(CP A)によってフセイン元大統領が拘束されました。また、新型肺炎(SARS)が流行したのもこの年でした。

一方、国内に目を向けると、衆院選で民主党が大躍進して2大政党時代を予感させ、中曽根、宮沢両元首相が引退するなど、2003年は、地球的規模で大きな変化があった年といってもよいでしょう。

その年に、YCで組織する防犯ボランティア団体が東京本社管内で設立され、翌年には全国組織へと発展を遂げました。この速さは、他業種では及びもつかない猛烈なスピードです。と申しますのも、Y

Cが強固な戸別配達網を持ち、エリアの隅々まで知り尽くしていたこと。そして、長年地域の安心・安全を守ることに協力してきた歴史のあることに起因しています。本社が声を大にしてYCに指導しなくても、YC並びにYCスタッフは、地域の皆様の防犯活動の一翼を長年担ってきたのです。

全スタッフの意識向上を図ることで他紙系統社に見ない格段に凶抜けた犯罪抑止力、自衛力、情報発信力を全国規模にまで及ぶことを目指すべく組織されたボランティア団体、それが全国読売防犯協力会(略称・Y防協)なのです。

その信用と信頼の証しが、全国47都道府県警察との間で締結した「防犯覚書」であり、ここに地域の方々のお役に立ちたい——というYC所長とYCスタッフの精神が宿っているといても過言ではあ

りません。

最後になりますが、この10年で犯罪は巧妙化しています。こうした変化にもいち早く対応するため、Y防協では多くの有識者のご支援、ご協力をいただき日々研究を重ねています。YCが後援している防犯セミナーでは、「インターネット犯罪」「薬物犯罪」など、小・中学校教諭の要請に応じた講演も手掛けています。

Y防協は、これからも時代に即応した課題解決を、皆様と一緒に考えて、実践してまいります。

おかげさまで10年。  
よろしく！これからの10年。

皆様には、どうぞこれからのY防協にご期待ください。